

重点テーマ4

取引先との協働

2020年のあるべき姿

サプライチェーン全体でCSRに取り組んでいる

優先的に取り組むべき課題

- サプライチェーンマネジメント(社会・環境)

優先的に取り組むべきと考える理由

東洋ゴムグループは多様化する様々な社会的課題を、企業活動を通じて解決していくことが企業責任であり、社会における存在意義と認識しています。そのため当社グループのサステナビリティ調達に対する考え方をお取引先と共有し、協働によるリスク回避、さらにはサプライチェーン全体でのグローバルな社会的課題解決への貢献を、優先的に取り組むべき課題と位置づけています。

方針

東洋ゴムグループは、各国・地域の自由な競争及び公正な取引に関する法令を遵守の上「東洋ゴムグループ購買基本方針」を定め、公正な取引による適正な品質・価格を追求しています。そして、「東洋ゴムグループCSR調達ガイドライン」を策定し、お取引先と協働して、企業活動が環境・社会に及ぼす、あるいは及ぼす可能性のあるマイナスのインパクトを軽減、防止、最小化すること、さらには共に企業価値・競争力が向上することを目的としたサステナビリティ調達を推進し、安定供給を確保します。

基本的な考え方

目標

すべてのお取引先と当社グループの持続可能な調達方針を共有するとともに、サプライチェーン全体の実態把握と適正な取引に努めます。

東洋ゴムグループ購買基本方針

① コンプライアンス

購買活動にあたって、関連する法令・社会規範を遵守するとともに、機密保持を徹底します。

② パートナーシップ

取引先様との誠実、健全な関係を維持し、対等な立場での協力関係を築きます。コミュニケーションの充実を図り、相互の信頼を強化し、共に成長、発展することを目指します。

③ 透明かつ公平な取引

取引先様の選定にあたっては、CSRに関する取り組みの共有と協働及び品質・価格・納期・安定供給能力などを総合的に評価します。

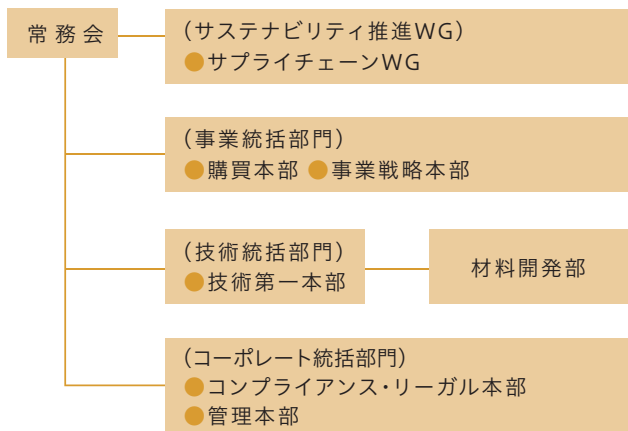
④ 環境への配慮

地球環境負荷低減に配慮した購買活動を推進します。

責任

事業統括部門管掌執行役員

活動推進体制



公平・透明な取引

東洋ゴムグループでは、各国・地域の自由な競争と公正な取引を「東洋ゴムグループ行動基準」に掲げ、独占禁止法・下請法の遵守、公正な調達活動、輸出入関連法令の遵守、適正な表示と説明を実施しています。

例えば東洋ゴム工業株式会社では、公平かつ無差別な取引の徹底や、お取引先との個人的な利害関係の禁止などを定めた購買取引規定や、独占禁止法が禁止するカルテル・談合およびこれらの疑いを招く行為を未然に防止するためのカルテル防止規定を定め、公正かつ自由な競争に基づく事業活動を確保しています。

購買取引におけるコンプライアンスの徹底

当社グループでは「東洋ゴムグループ行動基準」を指針として、各国・地域の法令や習慣などの違いに応じた独自の行動基準を制定し、コンプライアンスの浸透および推進を図っています。

例えば東洋ゴム工業株式会社では、2017年度、法務部がコンプライアンス推進部および購買部門と協力し、当社グループで下請事業者との取引を行っている部門に対し、下請法の理解度と遵守状況を確認するためのチェックリストによる自主点検を実施しました。点検結果を分析し、必要な改善策およびよりきめ細かい予防対策を実施しています。

さらに「下請法管理責任者会議」を通じて、継続的な勉強会の実施、共通マニュアル等の導入、グループ内での情報の共有化を進め、下請取引担当者の知識の向上と理解レベルの統一化を図っています。

電子入札システムの活用

当社グループでは、調達担当者同士の接触による不正および談合の防止と、入札にかかるコスト削減を目的として、国内外の主要な購買拠点においては、お取引先の選定に電子入札システムを導入し、選定プロセスの公平性・透明性を高めています。当社が実施した入札のうち、電子入札システムを活用したお取引先を選定した案件としては、設備導入や社用車のリースなどがあります。

お取引先との協働

CSR調達の推進

東洋ゴムグループが主原料である天然ゴムをはじめ、事業成長に欠くことのできない品質・量を兼ね備えた原材料を安定的に確保し続けるためにも、持続可能なサプライチェーンの構築は必要不可欠です。

持続可能なサプライチェーンの構築は当社グループにおける緊急性の高い優先課題の一つとして、全社横断的なワーキンググループ(WG)を設置し、方向性や目標・ターゲットなどアクションプランを協議しています。WGには、関係する事業組織の担当者が参集し、協議したアクションプランは取締役会から委任された常務会(議長:社長)で承認され、グループ全社・全組織へ展開されます。

当社グループは、購入する製品の品質や特定化学物質の含有状況について監査や調査を実施していますが、サプライチェーンにおける環境・社会課題に対応するため「東洋ゴムグループCSR調達ガイドライン」を策定し、CSR自主点検チェックリストを作成しています。CSR調達ガイドラインは日本語版・英語版・中国語版を発行し、海外のお取引先にも展開しています。国内外で説明会を開催し、お取引先に対してCSR調達ガイドラインの趣旨の共有と協働、および自主点検と改善をお願いしています。

紛争鉱物への対応

アフリカ中部等の紛争地域で産出されるスズ・タンタル・タングステン・金(紛争鉱物)を購入することが現地の武装勢力の資金源となり、紛争や人権侵害などを助長するとして、欧米を中心に紛争鉱物を規制する動きが広がっています。当社グループでは、お客さまやお取引先と協力しながら製錬会社まで遡って、当社グループが購入する原材料がそのような非人道的行為に関与していないかを確認する調査を実施しています。

TOPICS

持続可能な天然ゴムを実現するためのイニシアチブの構築を支持

WBCSD(World Business Council for Sustainable Development:持続可能な開発のための世界経済人会議)のタイヤプロジェクト・持続可能な天然ゴムワーキンググループは、天然ゴムサプライチェーンのステークホルダーを幅広く巻き込んで、持続可能な天然ゴムを実現するためのイニシアチブの構築を宣言しました。当社グループは本ワーキンググループに参画しており、イニシアチブの構築を支持しています。イニシアチブは2018年末に設立予定で、関係する機関とのパートナーシップを強化し、持続可能な天然ゴムの実現に向け取り組みます。当社グループも本イニシアチブの原則を尊重したCSR調達方針へとガイドラインの改訂を進めています。

